

戦史資料

獨之混成第五十旅團通信隊 (不十ノ島)

調製官通信隊長陸軍少佐桑

編成裝備關係

ノ自己部隊及關係部隊ノ編成人員兵器器杖

編成

指揮班
 長 准尉 一
 連絡部 下士官 一
 兵器器杖 下士官 一
 瓦斯部 給與部 下士官 一
 在隊 下士官 一 (直ノ名是)

衛生 下士官 一 傳令 二
 衛兵 一
 刺入手 二

三 長 本 尉

第一隊
 長 中少尉 一
 無線分隊 四
 長 中少尉 一
 各分隊 同シ

第二隊
 長 軍曹 一 兵 二
 准士官 一
 將杖 三
 下士官 一九 (砲兵杖二)
 兵 一〇五 (内衛兵三)

各分隊 同シ

右ノ如キ編成表ヲ示サレモ通信隊ハ昭和十九年六月十日不十ノ島ニ於テ旧南洋
 第三支隊通信班ヲ基幹トシ編成セラレモミニテ不十ノ島ノ實情ト器杖不足
 ニ鑑ミ若干ノ編成ニ整ヘ次ノ如ク編成シタリ

長 本 尉

指揮班
 長 准尉 一
 連絡部 下士官 一
 兵器器杖 下士官 一
 瓦斯部 給與部 下士官 一
 在隊 下士官 一 (直ノ名是)

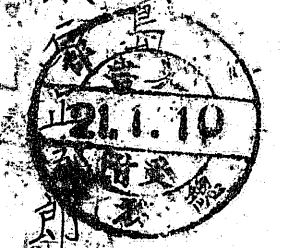
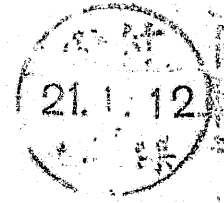
衛生 下士官 一 兵 三
 衛兵 一
 刺入手 二

無線分隊 六
 長 兵 七
 無線分隊 六
 長 兵 七
 (推定同老杖及其他視号器杖利用)

軍分隊
 長 兵 七
 兵 七 (島大ヲ訓練セルモノ)

兵器

- 有線器杖
 九二式電話機 20
 日十被覆線 60 卷
 九式同線交換機 1
- 無線器杖
 九四式三號甲三機
 九四式五號機 四
 九四式六號 六機 (蘇下大隊用ニ支付)
- 視号器杖
 九三式推定同老杖 二
 横 六。
- 一般兵器
 小銃 115
 手榴彈 400
 小銃乾電池 39940



之職員

通信隊長 少佐 桑原正五郎
 有線隊長 中尉 齊藤新正
 無線隊長 中尉 小西治兵衛
 人員兵器等増減関係

兵器一致補給の期行セリトシ、島ヨリ左ノ糧カニ補給スル感激アリ

昭和十九年三月九日

九式無線機 小波覆線四巻(以上皆小)

乾電池 200個 手角四号 120個

真空管 若干

昭和十九年一月三日

兵器管若干

九式三号用 手廻自動発電機及 濾波器ニ機分

兵器管若干 中波覆線 敵機攻撃時 保存シテ殆ト大半ハ既設線及島内民有線ヲ利用セリ爲線長利木多雨湿度爲相当断線セル制式被覆線ノ備耗ハ三巻線波ナリヤ
 其他器材消耗殆トシ但シ相當ノ故障アリシニ現地物資ノ利用ニ依リ修理整備シ終戦迄支障殆トナシ
 人員兵器増減関係
 現地住民使役ナシ

二 部隊履歴ノ概要

昭和十九年三月十日南洋第三支隊通信班ヲ基幹トシ旧轄下大隊及獨之混成第五聯隊衛生隊ノ一部ヲ以テ編成ス

三 指揮系統關係其變遷ノ概要

終始獨之混成第五旅團司令部轄下ニ在リ

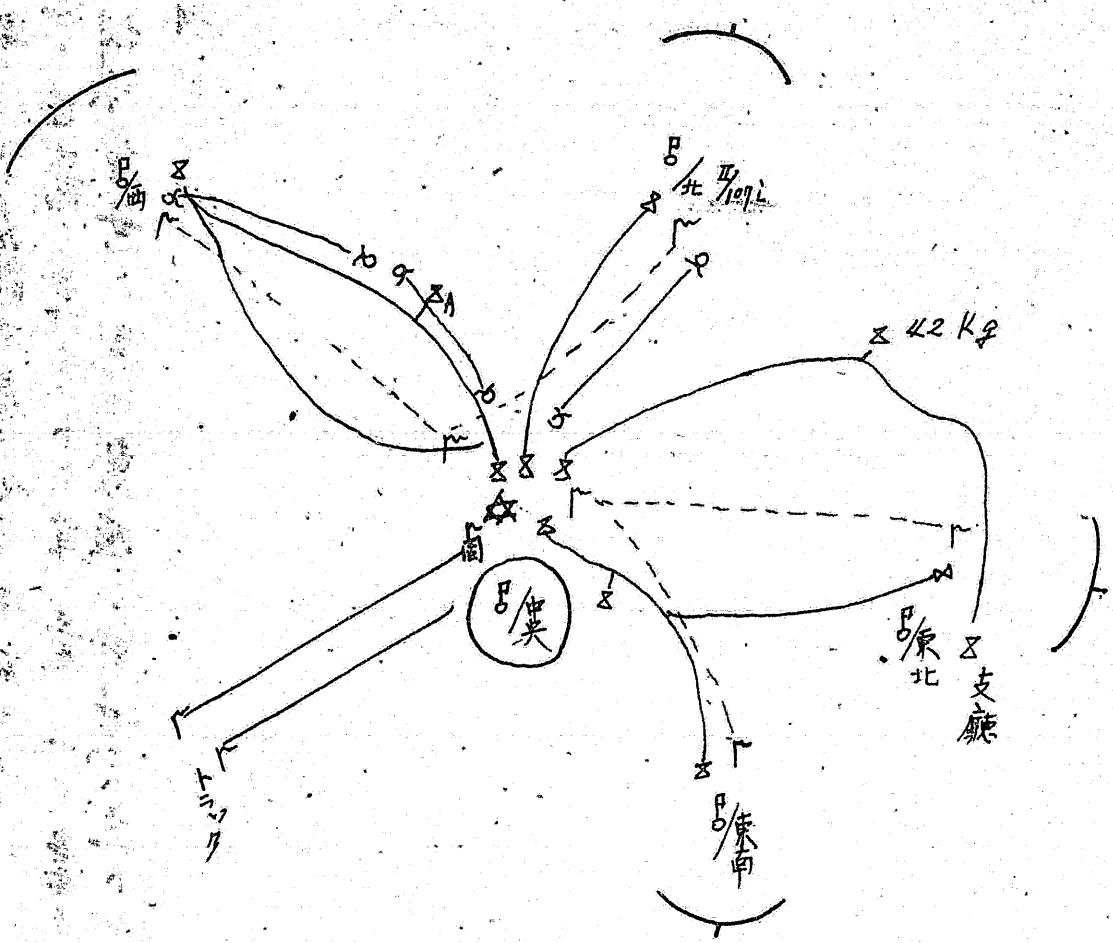
四 作戰準備關係

旅團司令部配備ニ伴フ通信連絡計畫ノ概要

方針

連絡 直莫ラ司令部西北地区隊向トシ準備向テハ主トシテ有線ニ依リ敵來攻時ニ在リテハ主トシテ無線並各種手段ヲ併用シ連絡先全ラ期ス

通信要圖



2. 連絡状況

通信所 設備線路 運定

通信障害の要素

湿度 高湿多雨 (潮風を含む)
樹木 繁茂 倒木

ラカ島通信所、上空に遮蔽の海上より反対斜面を利用して、五月五日に爆撃機が耐
抗得ル位置に運定、トモモホカ島、西多雨期に於てハ殆ト毎雨了一頭底疎通不
能、從つて港灣施設飛行場並主要道路其他爆撃目標ヲ避テ線路ヲ運定
シ架設セリ司令部司令部位置自係上止ム得ル場所ヲ掘設ス

爆撃機に依ル線路状況

昭和十九年五月五日以降、連日激機爆撃アリ上陸後約一月程度ニ南洋群
島支隊通信証高時人員少ク有線疎通不十分ナリ、六月十日混成旅團
通信隊編成後概テ良好ナル状態ナリ

ハ無線状況

ホナ、トシ、同當初海軍側シテ輕由ニ依頼シアリシモ三月下旬九四式三子
下旬九四式三子甲ニ依リトシ、520ト連終スル至北書洞ハ距離大(20km)ト
空界及電氣帯ハ影響ニ依リ感度及電キ場合多ク、感度ノ場合アリ

月没夜同掛焼ハ連絡可能六日一日有ハ郵便員ヲ以テ第三十一軍固
定無線機ヲ編成セリ通信隊長指揮下ニ屬セリ爾後トラスノ下
ハ連絡ヲ安易ニ施セリ固是無線機使用器具各機ハ送信機ニシテ感度ハ
良好ナリ正干渉ハ感度切止メ通信不可能ナリ使用周波数
程度

島内無線機ハ三ノ甲及五ノアヲ使用感度甚良夜音ニ良好
ニ器找及電線整備

當初乾電池使用昭和二年六月以降一部蓄電池及電燈線管電
機電源ヲ利用セリ特ニ蓄電池ヲ利用セルトキハ有効ナリ但シ行
動内通信ニハ支障アリ

訓練状況

昭和十九年五月十日編成以降殆ト主カテ連絡勤務ニ従事シ勤務
即チ訓練トナシ特ニ敵来攻撃時燃然ニ砲爆下ニ於テ連絡確保
ニ通信計勤務各種通信校同連絡ヲ重シトシ訓練セリ

五戰時狀況

六給與衛生

給與ハ昭和二十年五月迄旅團司令官ヲ以テ給與ヲ受クルモ六月以降ハ
旅團司令官ノ命令ニ依リ分給シ左ノ如クニ実施セリ

一 現地自給ハ甘藷ヲ主食トシ其ノ量一人當リ 下中ノ量
二 副食ハ調味量無ク現地製塩シ野菜ハ主トシ甘藷葉使用ス

七日司令官ノ命令